

「次世代につなぐ」

ねらい…一昨年日本食文化が世界無形文化遺産に登録され、私たち日本人も伝統的な和食の良さを再認識するようになってきました。「温故知新」の言葉にもあるように、何事であれ、永きにわたり受け継がれてきた事柄を十分に知り、それを現代風にアレンジしながら次世代へと継承していくことは大事です。一緒に考えてみませんか。

対象者 **どなたでも参加できます**

開催期間 平成27年5月22日(金)～9月11日(金)《全7回》
いずれも13:30～15:00

開催会場 倉吉交流プラザ 視聴覚ホール
(倉吉市駄経寺町187-1) 〈Tel.0858-47-1181〉

受講料 **無 料**

1回 これからの健康生活
どう変わる?

開講式

5/22(金)

講師 鳥取看護大学 学長 近田 敬子

5回 人にやさしい製品とは?

7/23(木)

講師 生活学科住居・デザイン専攻 教授
杉山 陽二

2回 次世代につなぐ
子どもの文化

6/11(木)

講師 幼児教育保育学科 教授 齊木 恭子

6回 地方の市町村が消えていく?
～まち・むらは存続できるか～

8/21(金)

講師 生活学科情報・経営専攻 教授
野津 和功

3回 食品機能の
これまでとこれから

6/26(金)

講師 生活学科食物栄養専攻 助教
加古 大也

7回 子どもたちの
未来を考える

閉講式

9/11(金)

講師 附属幼稚園・保育園 園長 横濱 純一

4回 人生の哲学

7/10(金)

講師 幼児教育保育学科 准教授 佐藤 光友

申込・問い合わせ先

鳥取看護大学・鳥取短期大学
地域交流センター

〒682-8555 倉吉市福庭854

TEL/FAX: 0858-26-9138

とっとり県民カレッジ連携講座です

1回

テーマ **これからの健康生活
どう変わる？**

講師 ちか た けい こ
近 田 敬 子

現在、医療界は大きな変革期を迎えています。それは病院完結型から地域完結型医療の推進に伴うものです。地域に暮らすわれわれの健康生活がどのように守られるのか、さらに医療従事者である看護職者、および住民に何が期待されていくかを探っていきます。

2回

テーマ **次世代につなぐ
子どもの文化**

講師 さい き きょう こ
齊 木 恭 子

現代社会における生活圏の変化は、子どもの文化に影響を及ぼし、親子で、あるいは子ども同士で伝えられてきた文化の伝承性も薄れてきています。この講座では、子どもに伝えていきたい文化として、遊び、昔話、そして絵本などに触れながら考えていきます。

3回

テーマ **食品機能の
これまでとこれから**

講師 か こ ひろ なり
加 古 大 也

私たちは刺身にはわさびを添えています。なぜこの組み合わせなのでしょう？こうした疑問に対して食品それぞれの持つ役割が科学的に解明されてきています。昔からの、そして最新の情報を紹介しながら食品の持つ機能性について一緒に考えてみましょう。

4回

テーマ **人生の哲学**

講師 さ とう みつ とも
佐 藤 光 友

人はそれぞれの人生を生きています。その唯一無二の自己の人生をより有意義に見つめ直し、よりよい生き方あり方を探求すること、そのことを古今東西の思想・哲学にも触れながらお話したいと思います。

5回

テーマ **人にやさしい
製品とは？**

講師 すぎ やま よう じ
杉 山 陽 二

使いやすいと感じる製品を開発するためには、多様なユーザの「知覚・認知・操作性」からデザイン要件を抽出することが重要です。本講座では「ユニバーサルデザインに配慮した日用生活品」の開発プロセス実践例を参考に、人にやさしい製品について解説します。

6回

テーマ **地方の市町村が
消えていく？**

～まち・むらは存続できるか～

講師 の つ かず のり
野 津 和 功

日本の総人口は数年前から減少に転じ、ついに「人口減少社会」が到来しました。しかしながら、その現象は地方では随分前から出現しており、「消滅する市町村」の名前も発表され、大きな波紋が広がっています。私たちのふるさとが存続できる道を考えてみましょう。

7回

テーマ **子どもたちの
未来を考える**

講師 よこ はま じゅん いち
横 濱 純 一

私たちの生存の基盤である地球環境が大きく変化するなど、世界は先行き不透明です。子どもたちは今後、私たちが経験したことのない課題に直面します。子どもたちの未来のために私たちができることは何か、幅広い視点でともに考えましょう。